京城新報

●新聞料 [illegible]
●廣告料 [illegible]
●陰曆 四月十七日
發行兼編輯人 印刷人 秋山忠三郎
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

韓國に於ける第一銀行
其働と支配人の人物(一)
栗嶽生

▲第一銀行は韓國營業に於て儲けても居るが、在留民の發展則ち帝國の發展にも非常の功勞がある、列國が優越權を認むるに至つた事が居留民の發展にありとすれば、我對韓政策に大なる貢獻したのである、此點に於ては領事館と何れが効力多きやは一寸判斷に苦しむのである、

▲偖此功勞ありし第一銀行の韓國營業は、如何なる人物に依りて、施設されたるかを研究して、其人物を品評するも亦面白からうと思ふ、

▲併し吾輩は第一銀行の功勞は斯くの如く慥に認るが、非常なる特典を受けて意外の利益を得たることも認むるのである、今尙ほ其恩澤に浴して利益を得つゝある、故に功勞ありと云ふて決して誇る可らず、所謂功罪相償ふて居るのである、

▲吾輩はズット遡て、第一銀行が釜山に支店を設けた時分のことは知らぬのであるが仁川に支店を設置して、京城に出張所を設けた頃からの事よりの外知らぬのである、而して其後暫らく韓國を去て、五六年間滿州より露領を跋渉したる故に、其間の事を精はしく知らぬことも多いが、先づ吾輩の記憶にある所を攄へて評して見ようと思ふのである、

▲吾輩が韓國に始て來たのは、明治廿八年であるが、其頃京城には出張所があつて、極て微々たるものであつた、仁川は既に支店となつて立派に營業をして居つた、今日京城では南大門通りに廣大なる建築を始て居るが、其當時の出張所員抔は夢にも思はなかつたことである、

▲今の仁川支店を建築した當時の仁川支店支配人西脇長太郎が、頭取澁澤榮一に痛く叱られたと云ふ話がある、それは今の仁川支店の建築の規模が大き過ると云ふのであるが之を以て見るも頭取澁澤榮一の目に映じた韓國の銀行營業も推諒が出來るじやないか、然らば西脇長太郎は卓見が在て今日を豫期したかと云ふに、左樣でもない、唯自分が長く仁川に居て、營業は漸次擴張するに從て、居留民からは殿樣扱にされる、そこで一つ立派な銀行でも建てゝ更に威光を輝かして見ようとの痴榮心と、實際最初の建築では手狹を感じたからでもあらう、

▲今の京城支店がそうである、當時今日あるを豫期したならば、斯る見すぼらしき建築は爲なかつたらうと思ふ、兎に角第一銀行の韓國支配人は短見者流の揃であつたかと吾輩には思はるゝのである、

●四月中京城商況
京城日本人商業會議所調

△本月に於ける商況は前月に比すれば多少の活氣を呈し官民の建築工事に要する木材金物等諸材料の賣行最も好況なり目下邦人の增加に伴ひ一般食料品等殊に需要多きを加へ亦た弗々夏物の賣行を見るに至り一月以來沈靜の狀態にありし市況は稍や活氣を見るに至り總然たる商業界は幾分恢復したるやの感あり然れども是れ居留地一部の現象にして全体より觀察する時は各地の暴徒未だ鎭定に至らず引續き韓人との取引圓滑ならざるを以て到底急速に之が恢復は覺束なからん一面母國刻下の形勢に鑑み尙ほ前途の不況を氣遣ひ各商店とも大口の仕入を爲すもの昨年の同期に比すれば約二割方取引減少を見るが如し今市內各商店に就き調査したる所左の如し

△玄、白米● 前月より引續き米商界の不況に連れ地方よりの出廻減少し殊に白米(日本同)は一般不況なる爲め漸次下落の摸樣なり殊に玄米は目下品薄の有樣なるにより前月に比し石に付き五六十錢方騰貴せり

△紡績糸● 本月は一般農繁期に近づき且つ地方暴徒の爲め田舍客の入京するもの少なく賣行大に減少せり內地下落の爲め當地に於ける相場も自然弱含の模樣なり

△和金巾● 追々夏氣に向ひ且つ農繁期に近づきたる爲め前月よりは各品共賣行減少せり相場に於ては目今保合の姿にて變動なし

△晒金巾● 本月は多少の賣行あるも大なる取引なく相場も時々變動あれども目下の處先づ保合の姿なり

△麥粉● 本月は相當の賣行を見る然れども本國相場下落の爲め當地に於ても前月に比し袋に付き十錢方安價を呈せり

△砂糖● 本品は目下賣行好況なるも內地相場騰貴の爲め當地に於ても前月に比し擔に付き五六十錢方高價を呈せり

△日本酒● 前月來引續き市況不振の爲め他の日用品と異なり大に需用を減じ其影響最も甚し然れども本月中旬頃よりは氣候溫暖にして建築工事等の爲め諸職工の入京者多く多少人氣も恢復し月末に至りて幾分賣行を增加し稍や活氣を呈せり値段に於ては各種共擔に付き七八十錢方高價を呈せり

△罐詰類● 本月は前月に比し各品共賣行良好にしてパインアップル、鮭の如きは最も需用者多く各店共一時品切の摸樣なりき値段に於ては前月と大差なし

△大、小麥● 引續き暴徒の爲め地方よりの出廻り捗々しからず市場大に閑散の狀態なり相場も目下保合の姿にて前月と大差なし

△大小豆● 前同樣暴徒の爲め出廻り少なきも鐵道沿道のものは相應に出廻ありて弗々取引を見るに至り市場稍や活氣を呈せり去れど相場に於ては前月と大差なし

●地方稅則制定に就て

既に公布せられて實施を中止せる地方稅規則が韓國の現狀に適せざるを以て政府は今回新たに同規則を制定發布するため目下內部に於て其の草案起稿中なる事は既報の如くなるが此れに關して當局者の談によれば從來觀察使郡守は國庫に納付する稅金の外に屠牛所及び市場等より稅金を徵收し或は紙錢諸願用紙代等の手數料を收納し又は學校費として人民に課稅する等所謂雜稅なるものありて其の率は全國各地一致せず隨て諸種の弊害ありたる爲めに此の種の雜稅は一切廢止すべしとの議ありしも既に人民が納付し來れる者を廢止せば再び稅則を制定して賦課したる場合に於て人民は新稅を納付せしめらるゝの感を起し徵稅上却て不得策なるべし故に此の際前記の雜稅を整理し地方稅として納付せしむれば人民の負擔を增さずして地方行政の收入を得べしとの意見に一致し此の方針により新地方稅規則を制定し居るを以て地方人民は此の稅則の發布實施と共に直ちに新稅を課せらるゝが如き事なしと云ふ

●森林調査の認可に就て

森林法及び同法附屬法の規定に關し農商工部へ願書を提出せんとする者實地に就きて森林原野の調査測量をなす場合に方り地方人民が故障を申立て或は韓人地方官が許可を與へずために其の目的を達するを得ざる事は屢々耳にする所なるが右は今回公布せられたる森林法施行細則第三條により其の實地調査を農商工部大臣に出願せば認可書を與へらるゝを以て該認可書を携へて地方に出張せば如斯障害なしと某當局者は語り居れり

●面長財制の發布

韓國地方共部內に面あり面の下に洞村里あり而して面には面長洞村里にも各其の長ありて各管內の公務を掌り其の任命は各管內の有志者等の推選により郡守へ申請し認可の方法を執り任期の多くは一個年を以て一般の通則となれるが未だ全國を通じて適用せらるべき法規存在せざるを以て同部は今回其の職制を發布する筈にて目下調査中なるが從來の習慣谷地の現狀に照し甚しき變革なき程に於て制定せらるべしと云ふ

●森林法施行細則(續)

第四十四條 年期賣却に附帶する國有森林山野の使用又は貸附に就ては農商工部大臣が契約の變更又は解除するに伴うて其使用を廢止し或は貸附を解除する事有るとも買受人は異議を陳述するを得ず

第四十五條 契約保證金は買受人に屬する諸般の義務を履行し終るに至らざれば此を還納せず

第四章 讓與

第四十六條 國有森林山野の讓與を受けたる者は第七號樣式に依りて農商工部大臣に請願すべし

第四十七條 用途を指定して讓與したる國有森林山野を指定したる期間內に其用途に使用せざる時又は一次其用途に使用するも爾後に繼續使用せざる時は此を還納すべし

前項の場合には森林山野を原形に回復し又は此に附屬したる物品を收去すべし讓與を受けたる者が此を怠慢したる時は農商工部大臣が此を行ふとも其費用を辨償すべし

第四十八條 前條に依りて國有森林山野を還納したる場合には其森林山野に設定したる第三者の權利は消滅す

第五章 交換

第四十九條 國有森林山野を他の土地と交換せんとする時は農商工部大臣は彼等と立會ひて右の事項を調査す

一、交換の實測面積及價格
二、產物の種類、材積、數量及價格
三、第三者の權利有無

第五十條 國有森林山野を交換する時は農商工部大臣は第八號樣式によりて交換契約書を作製す

第六章 貸附

第五十一條 國有森林山野を貸附くる時は貸附料を徵收す但し公用又は公益事業の爲め又は林業付帶事業として貸附したる場合には貸附料を免ずるを得

第五十二條 國有森林山野の貸附は左の期間を超過するを得ず但し公用又は公益事業に要する者は此限にあらず

一、鑛業及植樹の場合にありては百年
二、家屋倉庫其他建設物の場合にありては五十年
三、其他の場合にありては三十年

前項の期間は是を更新するを得(未完)

第五十三條 國有森林山野の貸附を受けんとする者は第九號樣式に依り請願書に實測圖を添付し農商工部大臣に提出すべし

樹竹在る森林山野に在りては其種類及材積を記載したる書面を添付すべし

第五十四條 貸付許可ありたる時は借受人は農商工部大臣の指定する期間內に第十號樣式により貸借契約書を作製すべし

但し一時の貸付又は十年を過ぎざる年期貸附は其料金が百圓未滿なりし場合には第十一號樣式を誓約書にて契約書に代用するを得

借受人が前項の期間內に契約書を作製せず又は誓約書を提出せざる時は農商工部大臣は貸附許可を取消す事あるべし

第五十五條 借受人が其森林山野を轉貸し又は其權利を讓渡さんとする時は第十二號樣式に依りて農商工部大臣に請願し許可を受くべし

第五十六條 借受人が森林山野の渡與を受けたる時は契約書を提出し指定されし期間內に四圍に地界標を建設すべし

第五十七條 借受人が契約期間滿了したる時は其森林山野を原形に回復し能はざる時又は此に附屬する物件を收去し能はざる時は農商工部大臣は其請求に依りて更に期間及び貸附料を定めて此を延期する事を得

文苑

三溪洞にて　扇三子

しき島の日本心さきいでゝ韓にも匂ふ山櫻花

吾笑吾

わかたしむ、みちにこゝろを、こめむしの今日もむなしく喰ひつぶしけり

偶成

百年三萬六千日。壽夭浮生但聽天。無那貧思猶白骨　唯存風月與山川

小說 新不如歸(十二)
篠原嶺葉著

或は曜日の午後のことであつた。赤阪仲之町なる西脇義祐方の玄關に來て、靜に訪ふ青年紳士であつた。

「誰方樣でございます。」

云ひつゝ玄關口の障子を靜に排けて、行儀正しく顏を出したは義祐が妹百合子であつた。

紳士は其顏を見るよりハッと騷く胸をチッと抑ゑ。

「西脇さんは御在宅でせうか。私は斯らいふものです、御在宅なら一寸御目にかゝりたいです。」

と、一葉の名刺を差出した。



と、何故か百合子は透き徹るほど白い顏にパッと紅を浮べて、顏も得上げず恥かしさうな容子であつたが。優しい聲で、

「どうぞ暫くお待ち下さいまし。」

と、名刺を手に、叮嚀に挨拶して奧の方に去つた。

不思議なは紳士と百合子の擧動である。彼等は初めて會ひながら何故かく恥かしさうな色を表したのであらう。

寸時すると百合子は再び現れて、

「お待せ申しました、取散して居りますけれど、どうぞお通り下さいまし。」

「では御免下さい。」

と、百合子の案內に與まつた八疊の一室に導かれた。

室は南を受けた暖かさうな室で、午後二時と云ふ太陽は庭樹の梢より硝子障子を半照らして、奎く小春の長閑さを示して居る。

室內の裝飾も數を盡したと云ふ程ではないが、淡泊と奇麗に飾つてある。壁間に懸けてある故南州翁の筆になつた額面を眺めて居ると、徐に襖を排けて入つて來たは、主人西脇義祐であつた。

やがてフツリと襖の上に坐つて、

「どうもお待せしました、私が西脇義祐です。將來御懇意に願ひます。さあ、どうぞ自由に居て下さい、洋服を着用したものは窮屈にしてゝは堪りません。」

と、一面百識の如く打解けた物の言ひ振である。

「私が尾花敏男です、突然伺つて甚だ失禮でした、將來宜しくお願ひ致します。」

「只今御名刺で拜見致しますが、參謀本部に御出勤の樣子でありますが、尾花少佐御存じでありますか。」

「ハイ能く存じて居ります。貴方も御懇意でありますか。」

「懇意な所ぢやありません、士官學校の同期生ですが、少し事情があつて近頃は余り親くは爲て居ないです。」

「あゝ然うですか、すると貴方も猶且陸軍へ……。」

「では御存じなしにお訪ね下すつたんですか。」

「眞個存じないで伺つたです。して近衛ですか一師團ですか。」

「今年の春まで第四師團に居りまして、漸から一師團に轉勤したのです……官職でありますか、漸くまだ大尉であります。」

「あゝ然うですか、しかし貴方が軍人であらうとは夢にも知らんかつたです……。」

「いや、飛んだ話を爲出しまして[illegible]はらんで、失敬致しました。何か御用でお出で下さいましたか。」

と、やゝ改つて問ひかけた。

「實は些と折入つてお願ひしたい事があつて伺つたです。」

と、敏男は少しく形姿を正した。

京城新報

暴徒討伐

伊藤公の自覺

顧れば昨年以來余輩が統監政治に關する各種の問題を捉へ之が研究解釋を試み同時に當局者に向つて勸告若しくは建議を爲したることは一再にして止まらず就中問題中の問題とも云ふべき暴徒鎭定に付ては其急務を絶叫し時に姑息の意見を持したる當局者をして屢々遊面を作らしめたることさへ無きにしも非ざるなり、特に先日余輩が再び伊藤統監に與ふと題して一擧討伐が總ての點に於て利益なる所以を論じて痛切に警告したるは今尚世人の記憶に新たなるところなり。

今や時勢一變賢明なる伊藤統監は余輩の痛言を容れて一擧討伐の廟議を決せられ、我が精銳なる軍隊は增遣せられ、剛勇果斷なる長谷川大將之が司令官として將に決行せられむとす、軍隊の數及び其討伐方法に於ては余輩亦意見を有すと雖も、今は之を云爲する時機に非ざるを以て默すべし、久しく曖昧摸稜の中に彷徨せし統監政治が玆に聊か曙光を放ち、此快擧を敢行するに至りしは對韓政策の一進歩にして、帝國の發展に資すること鮮からず、余輩は之を祝すると同時に暴徒の鎭定は統監府の手を離れて軍隊に遷れることを喜ばずんばあらず、換言すれば統監政治の範圍に於て到底爲し能はざるを自覺して、軍隊の力に依賴したることを識認せり、更に之を敷衍すれば、伊藤公は其懷柔政策の全然失敗せるを自覺して、軍隊の力に藉り高手的威壓をなすの必要を感ずるの傾向を示したるなり、此際に於ては伊藤公よりも長谷川大將を要することの多きを識認するに至れり、韓國統治に威壓の必須なることは余輩が繰返し々々論議せる所なり、然るに當局者は馬耳東風更に反省する所なかりき、今や漸く反響し來れり、今回の暴徒討伐の如きは僅に此趨勢の一端を發露したるものと見るも敢て大過なからむ乎、果して伊藤公にして韓國統治の全体に於て、懷柔政策の誤謬なりし事を自覺せば、余輩が屢々聲威を冒瀆して苦言痛告したることの徒爾ならざるを悅ぶと共に、帝國勢力發展の爲に欣喜せざるを得ず、伊藤公にして斯の如く自覺し、最初の保護協約より、昨夏の新協約締結を追想し今回の暴徒討伐に及ばゞ如何の感か起る、總てに於て軍隊の力に依らざれば爲し能はざることを豁然として大悟し、恰も夢の醒たる如き感あらむ、而して公が統監として軍隊の勢力以外に爲し得たる所のものは何者ぞと更に追懷すれば、伊藤公たるもの惶怩として自ら冷汗の禁ずべからざる者あらむ。余輩は遺憾ながら伊藤統監が軍隊の勢力を藉らずして、成功したる實蹟を未だ發見せざるなり、否不幸にして公の統監政治が全然失敗なるを認むることを告白せざるを得す、統監政治が今日の不結果を見るに到りしは、伊藤公の手腕鈍なるが爲にあらず、韓國の事情に適せざるが故に根本の方針を誤りたる爲なり、既に根本を誤る枝葉亦誤らざるを得ず、今や暴徒討伐に於て自覺の一端を示せり、更に根本の誤謬を自覺せば對韓政策の一轉進を見るべきなり、帝國の對韓政策が伊藤公に據りて全く解決せらるべきか、果して之を爲し得べきかは大なる疑問なり、伊藤公にして全然自覺したりとするも、公の性情として到底斷乎たる處置を爲す能はざるべし、於是余輩は今尚伊藤公を信賴するに躊躇し帝國の對韓政策を完ふするに於ても公の性格が全く不適任なるを宣言するを躊躇せざるものなり。

●仁川貿易旬報　本月上旬仁川港に於ける外國貿易額は輸出三萬六千四百十七圓輸入三十萬八千九百五圓合計三十四萬五千三百二十二圓にして重なる輸出品は米一萬五千七百二十九圓大豆及小豆一萬千四百六十三圓牛皮二千七十四圓生牛二百圓輸入品の重なるものは食鹽四千四百七圓砂糖及精糖三十二圓淸酒千百五十六圓石油六圓綿織糸二千四百八十八圓生金巾及びシーチング二萬三千二百六十六圓、晒金巾二千九百六十七圓日本木綿六千八百一圓麻布三萬九千八百四十六圓絹布四千八百六十七圓紙五千八百七十七圓石炭一萬六千百六十五圓[illegible]千百九十五圓烟草四千七百六十八圓、木材及板一萬三千五十五圓セメント及石灰二百三十二圓マッチ二千百四圓なりし

總選擧

內地に於ける衆議院議員總選擧は一昨日を以て了り各名士は例に因て當選したるものゝ如し只氣遣はしきは各黨派に於ける陣笠當選の數なり知らず政府黨過半數を占めたるや否

伊藤內閣

總選擧の結果如何に拘はらず西園寺內閣は總辭職を爲して伊藤內閣代るべしと傳へらる戰敗國の公債は歐州市場に於て額面を維持し戰勝國たる我公債が却而逆遇を受けつゝある今日に於て元老內閣の出現亦小補なしとも限らず知らず春畝公暴徒を公債に乘り換ゆるの勇氣ありや否

東京電報

▲選擧法違犯

今回の總選擧に就きての選擧法違犯は全國を通じ九十二件にして其の人員は四百九十七人なり

▲外人渡來者增加

三月中の外人渡來者數は二千七百七十三名にして昨年の同月中の渡來者數に比し一千七百名の增加なり而して此の中最も多數なるは英人にして三百五十二名次は米人三百十三名なり（以上十五日發）

雜報

●德壽宮行幸

韓國皇帝には宮內大臣其他の大官供奉して昨日午前十一時三十分敦化門出御能朝橋、鐵橋、鐘路、黃土峴、新橋、布德門前路等順路を經て四十分大漢門より德壽宮に着御直ちに太皇帝と御對顏あらせられ御問安ありたる後午後一時、眞殿、景孝殿に展謁ありたる後同四時三十分前路を經て還御ありたり

●東門外四陵展謁

韓皇帝には明十八日午前七時敦化門出御東大門外に在る綏陵、健元陵、景陵、洪陵等の四陵を展謁あらせられ午後六時洪陵御出發同五十分還御あらせらるゝ筈なり

●行幸護衛憲兵

明十八日皇帝には東大門外九陵に幸行せらるゝに付憲兵將校一憲兵下士以下二十名其護衞として隨從すべしと

●健元陵行幸ご警衞

明十八日韓皇帝健元陵に行幸あらせらるゝに就ては同健元陵は東大門外約四里の地點にあるを以て道中の警衞に就ては多人數の警官を要するを以て目下警視廳には各署に移牒して夫れ〳〵準備中なりと

●森林問題解決

鴨綠江森林問題は愈よ解決せり其の條約の要旨左の如し

一、伐採區域　伐採區域は二種に別ち第一の區域は鴨綠江本流右岸帽兒山より二十四洞溝に至る沿岸を距る六十淸里以內の地域とす會社に於て森林事業の十分なる經理を爲す事、第二の區域は鴨綠江本流に於て第一に屬する地域及び渾江流域とす此の區域に於ては專ら舊慣に依る伐木業を行ふ事（此の地方に於ては金主より樵夫に金を貸附け其の返濟方法として伐木を徵收するの習慣あり故に全然會社任意の經營に出づる時は是等樵夫の生業を失ふに至るべしとの淸國政府の苦情ありしを以て卽ち會社より樵夫に金を卸して從前通り伐木に從事せしむることに同意したるなり）

二、營業年限　營業年限は會社の業務開始后廿五年とす期間滿了後兩國協議の上更に之を延長する事あるべし

三、資本　資本金は三百萬元とし日淸國より半額宛提供する事

四、役員　會社に督辦一人を置き東邊道（淸國官吏）之に當る理事長は二人とし日淸兩國人一名宛を以て之に任ず其の他の役員は理事長協議の上之を選定する事、本店は安東縣に置き、分支店を各地に置く、條約締結後一箇月內に兩國より委員を出し（奉天に於て）細則を定め其の後三箇月內に開業する事、淸國に對する課稅（報効金）は純益百分の一とし毎年之を納め木材稅は地方に行はるゝ稅率の範圍內に於て細則を定むる際之を決す而して初めの一年間は官業とし兩國政府より資金を提供して營業を爲し一年後事務整理の期を俟ち會社に引渡す筈なり

●韓學生斷指の眞相

昨日發行の『學界の花』なる記事を揭載せるが今其の事の眞相を聞くに咸鏡南道洪原邑に硏究夜學校なる私立學校ありて其の生徒は同地の公立普通學校に在學せしものゝ中校則に違反せしため退校を命ぜられたる者數名が同校教師日本人梢原某なる者と謀り設立せるものにして梢原某は一昨三十九年同地一進會の日語學校に日本語教授のために雇はれ後郡內に寄付金を募りて私立泰興學校なるものを開き爾來四十年秋普通學校の新設せられし以來公然の手續を了せず郡守との口約により同校に教鞭を執り居るものにて其の素行は教育者として如何はしき節なきにしも非ざる如し然るに本年四月十六日前記夜學校生徒中三名の者修學同盟と稱し其の學校（梢原某住宅構內）に於て左手小指の末節部を切斷し流るゝ鮮血を以て『日本先生梢原彥三郎教育上熱心無極故三人遵奉次指斷同盟』又は『三人一心同盟補國安民之盟』等の文字を書し次で又三名の生徒同じく指を斷ちて同樣意味の血書をなしたるに同郡守鄭某は此の事を耳にし管內人民を官衙の前庭に集め此の斷指同盟を讚嘆し且つ如斯國家的趣旨を以て各自の業に熱中すべしと演說したりと云ふ而して彼等が斯行爲に出でし原因が那邊に存するかは解し難き所なるも梢原某が同地の日本人間に教師として適任ならずとの評あること及び斷指したる生徒が普通學校より退校を命ぜられたる者等にして而かも兩人間に密接なる關係ある事より考ふる時は梢原某が爲めにする所ありて煽動したるものに非ずやと云ふ此の事に關し地方官廳より學部に報告ありて學部は監督官廳に向て假令其の原因は何れの點に存するも苟くも學校生徒たる者が父母に受けたる貴重なる身体を濫りに毀損し奇矯なる言動に出づるが如きは不都合に付相當戒飭を加ふ可き旨訓示したりと

公人私人

△本[illegible]第一銀行支配人中村北吉氏は十五日不知火旅館に投宿せり

△度支部書記官佐々木藤太郎氏は十五日不知火旅館に投宿せり

△周防銀行支配人神田靜治氏は十五日三日月旅館に投宿せり

△陸軍騎兵中尉窪田博氏は十五日出發金州へ向へり

△海軍大主計石庫俊寬氏は十五日仁川へ向け出發す

△韓國政府囑託伊太利人エスアールボリヲン氏は十五日東海旅館に投宿せり

△山口縣玖珂郡柳井町長長谷川豐熊氏外十五日三日月旅館に投宿せり

●秘苑運動會延期

昨日昌德宮秘苑に於て開催し韓皇の御覽に供する筈なりし京城內官私立學校選拔生徒の運動會は同日皇帝德壽宮に行幸仰出されしを以て俄かに延期することゝなり何れ近々開催せらるゝ筈なるが期日は未定なり

かしこまる
蛙踏まれて
それ入る

●各地賊徒情況

△江原道伊川守備隊長の率ゆる討伐隊は五月二日伊川東北約七里廣北洞に於て約四百の賊を討ち之を潰亂せしむ賊の損害約百三十

△朔寧守備隊より出せる步兵斥候六名は五月七日朔寧西南方約二里に於て約廿の賊を討ち其三を殪し傷者若干あり

△慶尙南道晉州守備隊より出せる特務曹長以下廿は五月十一日晉州西北方約九里に於て約十の賊を發見し四を殪せり

△慶尙北道盈德憲兵分遣所長下士以下七名は盈德北方二里の地に於て約二十の賊あるを聞き四月廿八日之が討伐に向ひ追蹤中靑松守備隊の討伐隊と遭遇し協同して之に追及し潰亂せしめたり賊の死傷不明なり

●開港祝賀會彙報

△本日の祝賀會　豫報の如く本日午後二時より海岸埋立地に於て大祝賀會を催す筈なるが豫ねて案內狀を發せる東京大阪及び在韓知名士七八百名と生駒乘組員四百名に居留民を加ふる時は其數約二千名に及ぶべく餘興としては蛇踊、藝者の手踊、淸人の獅子舞其他無數演ぜらるゝ筈なれば未曾有の盛況を呈すべし

△統監の下仁　伊藤統監以下は本日の仁川祝賀會臨席の爲め古谷書記官其他を隨へ下仁さるべしと

△軍艦の拜觀　昨十六日は愛國婦人會々員小學校職員及生徒其他一般希望者の軍艦拜觀者引きも切らず埠頭は常に黑山を爲せり

△軍人の招待　信夫理事官、富田民長、宮木稅關長、顯原會頭等有志者は昨日午後より同地八坂樓に生駒艦長以下二十名の將校を招待して盛んなる歡迎會を催ふせり

△自轉車競爭　朝鮮新報社催ふしの自轉車競爭會は昨日午前中市中を廻り午後より萬石町會場にて競技會を催ふせるが可なりの盛況を呈したり

△市中の賑ひ　記憶すべき開港二十五年祭もあと一日を以つて終了することゝなれば市中は一層賑ひ藝者連の花屋臺、國旗行列、淸人の獅子舞其他催ふしもの絕ゑず市中を練り步き雜沓云はんかたなかりき

△淸國人の火舞　四五十人一隊の淸人は同國固有の火舞を演じたるが例のドンチャンは耳を聾するばかりにして邦人には何等の趣味を與へざりしが火舞は同國獨特の舞踏なるを以つて到る所に喝采を博したり

△生駒のイルミネーション　碇泊中の軍艦生駒は夜間イルミネーションを點じ且つ時々探海燈を照したれば玆に一大不夜の浮城を顯出し海岸一帶見物人を以て充たされき

△馬鹿囃琵琶隊其他　四五組の催ふしありたるが何所の粹士連か藝妓七八名に變裝をさせてラッパ節、イソ節等の俗調賑かに囃し立て何所を不景氣の風が吹くかと云ふやうな顏付きに市中を練り步きたるは殊の外人の目を惹きたり

●連帶輸送貨物增加

玆數日以前までは南大門驛に連帶輸送貨車の集まるもの一日平均一車にして多き時すら猶三車を上ることなかりしが昨今右方法にて貨物を輸送し來るもの非常に增加し一日平均五車に上り又仁川驛に於ても南大門及京釜京義の兩線に輸送する貨物の減少するに從ひ連帶輸送にて來る貨物は逐次增加し來り繩叺及千鳥正宗の如きは重に連帶輸送にて輸入せらるゝ由なるが過日門司より試驗的に精酒百樽を同輸送法にて輸入したる、仁川某商人に就いて其良否を聞くに未だ單に一回の輸送なれば之れを以て全般を論ずるは聊か早計の感なきにあらざれども鐵道に依る時は船便に依る運賃より精酒一樽に就いて約二十錢方の高價となり加之時日は船便より尙遲延し又釜山稅關の鑑定額は仁川稅關のそれより多少の差異ありて幾分か高價となり當港着の價格は船便に依りたるものより非常に昇りたりと語れり

●居留民會議

一昨日午後七時民團樓上に於て民會開會せらる出席者は十名にして纔に委員附托となりし左の事項に付委員長中村再造氏より左の報告あり終て高等女學校開校式に關し協議會を開き右校敷地購入に關し盡力したる者及舊女學校設立に付盡力したる者に對し開校式當日紀念品を贈興する筈なり

一、道路改鑿及改修調査委員に擧げられ實地踏査を遂げたる墟山手道路工事は最必要の道路にして早晚開鑿を要すべきものなるも目下財界沈靜の爲之を本年度に於て施工すべきものと認定せり

一、昭町、大和町二丁目三丁目連絡道路も同一の理由を以て本年度に於て之を見合はすべきものと認定せり

一、大和町三丁目より本町八丁目に通ずる道路は多額の費用を要せざる見込なるを以て本年度經費支出の狀況に依り若し剩餘を生ずるの見込確定せば豫算を更正して施行することを希望す

●關稅鑑定價格に就て

關稅局に於ては韓國各開港に於ける鑑定價格の一定せざるものありて輸出入品の上に及ぼす影響大なるものあるを以て各港稅關より鑑定價格を徵し目下之れが調査に着手し居れり

●秘苑運動會準備

別項御覽に供すべき學生運動會に關し選拔せられて參加する京城內官立學校生徒百五十名私立學校生徒百五十名女學校生徒百名は一昨十五日官立師範學校運動場に集合し運動競技の練習をなしたり

●毎日申報の發賣禁止

本日發行の毎日申報は學園の花なる論說が治安に妨害ありと認められ內部大臣より發賣禁止さる

●幼々會第二回開催

學部及び同部所屬學校に在職官吏の家族は俵次官の發起にて幼々會なる家族交際娛樂の會を組織し過日其の第一回を日本人俱樂部に開會せしが尙本日午後一時より賀六庭庭園にて第二回の開催をなし宴遊會の組織として種々餘興を催すと云ふ

●建築所員の出張

各地方裁判所及監獄建物取調の爲め左の諸氏十七日出張を命ぜられたり

平壤及大邱　大邱　同　海州　公州　晉州　咸興及元山　忠州及原州　同

技師　勝又六郎
技手　土井伊三郎
同　橋本末三
屬　小西鐵作
技手　佐藤菊次郎
同　鎌田楠次郎
同　田幡仲太郎
屬　杉根新太郎
技手　高原辰五郎
同　立花秀顯

尙同囑託として左の諸氏囑託せられたり

光州及金州　群山在勤統監府稅關工事部技手　久保雄吉
濟州　木浦在勤同　屬　荒田武彥
鏡城　淸津在勤同　屬　山田茂
平壤　鎭南浦在勤同　屬　野中市兵衛

●警察署長の交迭

今回各地方警察署長に交迭ある筈なるが其の內內部警務局保安課勤務警部乙政濤氣氏は忠淸北道永同警察分署長に轉勤を命ぜられ其の後任としては大邱警察署詰警部梅崎辰太郎氏任命せられ一昨日着任せり

●辭令

五月十五日附

任理事廳理事官敍高等官六等　正七位　和田四郎

●仁川稅關長上京

宮木仁川稅關長及勝木光濟號艦長は事務打合せの爲昨日上京せり

●實業視察員來京

山口縣柳井町長谷川豐熊、同町周防銀行支配人神田靜治同行員野村助治の一行は去る十五日實業視察の爲來京せり

●民團外勤吏員に手當

民團吏員にして外勤に從事する者に外勤手當支給規則を十五日の民會に於て決議せり

●學校請負入札

第二高等小學校請負人入札は十六日午後二時より民團役所に於て執行せり

●近事片々

▲統監　歸朝本月下旬に繰上げらる之れ暴徒討伐に依り危害の身に及ぶ爲と大朝報す

▲最も　他に重要問題起し爲と何が何やら薩張解らぬ今新に何等の重要事件起りしや

▲危害　の身に及ぶを怖れて逃出すと云ふも尙は可笑し近時の雲行常識以て計り難し

▲長白　山頭埋骨を覺悟せる御方の御擧動とも覺へず兩說共に恐らく例の風聞に候はむ

▲會禰　副統監伊公歸任前は暴徒鎭定に就き頻に良政を施せば自然悅服せんと言ひぬ

▲暴徒　討伐方針決定歸東するや前言忘れたる如く一擧討伐の利を說く定見何所にある

▲官人　の窮屈なる所信の發表儘ならず然りとて之れ俗吏の事耳副統監にして如斯憫亦歎

▲會禰　子歸東桂侯西園寺侯に面す桂伊間の融和に盡しつゝあらむ是會禰子の特長也

▲融和　の御役目濟ば拓植會社の委員亦定らむ倩其顏觸は如何玉手箱の感なくば幸也

▲親察　使會議近々開かると書記官會議と倂せて隨分御丁寧なり御念入に恐縮する耳

▲韓皇　日本に誘引せられむと往來韓人等吹聽して騷ぐ乍每度渠等の妄動濟度し難し

▲一進　會宋氏の歸國以來多少活氣づき其手始めとして宋氏の歡迎會を開くは面黑し

▲如何　に景氣をつけても根幹既に腐る其蘇り返しは到底六ッ箇敷早く大悟する肝要

▲地方　稅則面長の職制も定り着々日本的制度出現する何さか奇拔の方法なきものか

▲獨創　的に韓國現時の民度に適する地方制度を制定して龜鑑の譽を得るも亦快なり

▲韓國　策士連近來頓に覺醒し來りて教育に目を注ぐに至る之れ精神的革命の端緒也

▲輓近　學校の設置と共に著書の出版盛なる人を造るが興國の基也と自覺せるが如し

▲人心　推移の傾向は宜く經世家の着目すべき事也韓人近時の嚮盤は何と反響せる乎

▲海外　思潮の侵入も亦注目すべき現象也波蘭安南土耳古等の語は屢韓人の口に上る

▲統監　政治の發展を望むも以上の觀察よりすれば無理ならじ此苦言當局者解せりや

▲志賀　重昂氏來韓今三南地方にあり其地理學觀察は大に聽く可く感興す可き者多し

▲西園　寺侯辭意堅く總撰擧の終了を俟て內閣を明渡さむと果して然る乎先芽出度し

▲米國　不景氣尙止まず紐育に於て五十萬の勞働者職を失ふ趨勢容易に停らずと云ふ

▲流石　のハリマンも大に窮し英獨の資本而も巨額が注入さると米の財界亦慘を極む

제145호 1908. 5. 17.

●仁川貿易旬報 本月上旬仁川港に於ける外國貿易額は輸出三萬六千四百十七圓輸入三十萬八千九百五圓合計三十四萬五千三百二十二圓にして重なる輸出品は米一萬五千七百二十九圓大豆及小豆一萬千四百六十三圓牛皮二千七十四圓生牛二百圓輸入品の重なるものは食鹽四千四百七圓砂糖及精糖三十二圓清酒千百五十六圓石油六圓綿絲二千四百八十八圓生金巾及びシーチング二萬三千二百六十六圓、晒金巾二千九百六十七圓日本木綿六千八百一圓繊布三萬九千八百四十六圓絹布四千八百六十七圓紙五千八百七十七圓石炭一萬六千六十五圓鐵類四千百九十五圓烟草四千七百六十八圓、木材及板一萬二千五十五圓セメント及石灰一千三十二圓マッチ三千百四圓なりし

公人私人

△第一銀行支配人中村光吉氏は十五日不知火旅館に投宿せり
△度支部書記官佐々木藤太郎氏は十五日不知火旅館に投宿せり
△周防銀行支配人興田静治氏は十五日三日月旅館に投宿せり
△陸軍騎兵中尉窪田博氏は十五日出發金州
△海軍大主計石原俊寛氏は十五日仁川へ向け出發す
△韓國政府囑託伊太利人エスアールボリヲ氏は十五日東海旅館に投宿せり
△山口縣玖珂郡柳井町長谷川 五日三日月旅館に投宿せり

●學校請負入札 第二高等小學校新築請負入札は十六日午後二時より民團役所にて執行せり

●二人心中

▲所は新町井門支店▲ ▲當人は元鐵道局員▲

群馬縣群馬郡室田町字下室田町の生れにて宮崎雄吾(二十)といへるは數日前までは永登浦驛の保線事務所員たりしが仔細ありて解雇せられ糊口を凌ぐべき道を失ひ途方に暮れて此の京城に來り去る十五日の夜新町遊廓の井門支店に登樓し娼妓の君江といふを一夜の妻に瞞ひ酒肴を取寄せ淡白飲んで寢に就き昨朝九時頃起き出で〻便所に行き再び部屋に歸りて間もなく煩悶苦悩するより同樓にては捨て置き難しと警察に屆出で其内に醫師も出張して診斷する所によれば亞砒酸の中毒にして彼れが便所に至りし際豫ねて用意し居りて服用せしものなるべく尚ほ今より考ふれば死出の旅路の道連に敵娼を誘はんか若くは無理心中を爲さばやと心の内に巧みしも其の機會を得ず所持の金は既に盡きて恐怖々々して居る場合にあらざるより斯くは一人心中を爲せしものなるべく何にしろ無分別の男といふべし

●怪美人

處はさだか不知火の筑紫の國の生れとか聞きつる金線の帽戴ける人あり毎朝南山町より車に召されて出でましけるは人々の親しく視る所なれども其の歸ります時を見し人稀にて普通夜中ごろ醉つぶれて或時はたをやめの手を曳きて又或時は美人と車を列ねて歸り玉ふよしにて其の連れなる美人は幷も何者なるやが其のあたりの井戸端會議の問題となり居れども誰さへ之れを詳らかに知る人なく今尚は疑問の内にある由なるがこれぞ京城の怪美人の内に數はられたる一人にて身元素性を說き明かさんは一朝一夕のことならざれども今其の概略を摘んで物語らんに時はこれ明治三十七年日露交戰の折しも艨艟海を覆ひ貔貅陸に溢れ陸續として滿韓の地に乘り出せる廣島宇品の港頭に今日しも出陣の軍隊を見送れる數多の人々の立並べる内に萬綠叢中紅一點の美形ありさても不思議や鬼をも挫く軍人中に此の思ひ者ありとせば其の艶福家は何人ならんと人々見てある内に彼れ美人は群集の中を押し分けて只ある將校の許に近づきいと人目を憚りて其の袖を曳き不言不語の間に別れを惜み互に涙ぐみたり斯くて其の將校は旅順の役に敵彈の爲めに名譽の戰死を遂げしは新聞紙の報ずる所により走卒の兒童も能く知れる所なるが彼の美人は如何にせしやと折に觸れて思ひ出されけるも其の名さへ詳らかならざれば人に尋ぬる由もなく年月を經ると共に既に腦裡を離れけるが圖らずも頃日南山町に訪ねる美人を見て思ひ浮び且つ之れが京城の三怪美人と聞くより好奇心に驅られて探ぐれば探ぐる程變幻出沒奇々又怪々到底不粹なる我々の端倪すべからざるものあるも見聞の一端を記さん哉(まだある)

●脊骨を折る 昨日午後二時過京城理事廳前の電信柱に梯子を架し一人の工夫がこれに作業中例の無遠慮なるヨボが其の梯子に馬車を引かけたる爲めに工夫はすってん堂と落ちて脊骨を打ち挫き直に漢城病院に連れ行きたり

●足を折る 本町一丁目の辻本嘉三郎の雇人牧野芳松(二十)は去る十五日理事廳前道路に於て韓人李陽晋といふが荷馬車に土を積みて來り折柄土を箱より掻き卸す其の下をのろ〳〵と通行せるよりヨボに土を掻きかけられて足部に負傷せしが骨接料三圓を受取つて事濟みとなる

●睾丸を傷く 本町六丁目の金崎屋の職人長崎縣人中島倉松は一昨夜龍山の知人の許に至り酒を振舞はれ微醉機嫌にて市車に乘り歸宅中南大門驛附近にて戯れに電車の運轉機を奪はんとし車掌の安昌鉉は左はさせじと爭へる内如何なる機會にや倉松は陰嚢を破裂させて卒倒したるより直ちに安藤病院へ入院せしめたるが全治までには二週間を要すべしと

●鐵道青年會演藝會 龍山に假會館を設立せし鐵道基督教青年會にては今回本館を設立する爲め慈善演藝會を催し之れが收入を以て其建築費に充ることゝし來る二十一二三日の三日間本町座に於て演藝會を催す筈にて東都講談界にて名を知られたる眞龍齋貞水の講談及び手品其他の奏樂ありと云ふ尚ほ入場券は特別券三圓白券一圓青券一圓赤券五十錢の四種なり

●日曜說教 旭町二丁目の日本メソジスト教會にては本日午前九時聖書研究同十時禮拜及び「御足のあと」の說教あり午後八時よりは「生命を得るの秘訣」と題する傳道說教あり有志の來聽を望むと云ふ

●韓婦人の縊死 昨日午前八時過ぎ光熙門外約三四丁を距る松林中にて一名の韓婦人(四十)縊死を遂げ居るを光熙門派出所の巡査が發見し斯くと銅峴分署に急報したるにぞ銅峴署より趙警部山本醫師等時を移さず現場に出張し種々手當を施したれども既に縡切れたる後の事とて蘇生せず屍体は成規の取計ひをなしたるが未だ何れの者にて如何なる事情にて縊死したるや不明なり

●松泥棒頻々 奬忠壇附近の山林は官有にて他の伐採を許さゞるは人の知る所なるが昨日も一名の韓人右の山林に入り松樹を盜伐し居りたるを新町派出所の巡査に發見され例に依りて大目玉を喰ひたりと

●店出し 神奈川生れの福島いく(二十二年三月廿八日生)はたもちや△東京府生れの力川ちよ(十八年七月二十五日生)は福松へ横濱生れの秋月とよ(十三年十二月十九日生)は菊江△東京生れの廣島はる(二十二年十一月二十日生)は鹿の子と名乘つて以上何れも新町の清月より△神奈川生れの大寄ろく(二十年二月五日生)は源氏名を金糸と呼んで新町の大桝より何れも昨日店出しせり

●平民文庫 ▲韓洋亭の公設便所と云へば知らぬ人もない厄介者或旦那が遠方へ行たので落膽したが此頃電報が來て急に後を追ふて行くと云ふ事だ(鼠小僧)▲新町の裏山で二十一二の丸髷と二十前後の男と寐轉で居た候は知つてるが名は云ふまい(岡燒生)▲本町八丁目末廣亭のおきくさんあまりですよなんぼ誤商賣でも薄情すぎるわ前さん可愛さうに今では見る影もない樣になつて居る少しは人情を知るものだ(浮れ男)▲本町五丁目の砂糖屋の娘さんは此頃見えぬが何處かへ行きましたか(知り度い)▲昨夕南山で手を引き合つた男女を見た女は○○の妻君で男も僕の知つてる人だつた少し愼まぬと知れますよ(注告生)

天氣豫報(自十六日午後六時至十七日午後六時) 南又は西の風、雨後曇り





祝 解 停

一百濟餅
一高麗團子

弊堂製造の百濟餅並に高麗團子は今を去る數千年の昔吾が皇師の三韓征伐のとき百濟の王吾が皇子の長途御遠征の御心憐しく渡らせらるゝを案じ奉つり始めて献納申あげたる物にして余が曾祖祖父凱の後ち家系に其事柄を記し置きぬ其曾祖祖祭なる余が渡韓以來韓國各地方漫遊の序百濟餅高麗團子の所在を案め之を贖はんとするも今は絶へて其名だに知るものなきを遺憾とし余が家系に基き製作を試みしに風味雅良にして高尚世に比類なき韓國唯一の好物を得たり内地渡航諸君の朝鮮土産又は滋氣見舞等手輕進物品とし新なる名物の親玉なれば開港廿五年祭を機として廣く世に販賣しぬ御愛顧諸君多少に不拘御用命仰御付られ度偏に奉希候

一太神宮神輿渡御繪
入紀念カステラ煎餅

仁川港宮町一丁目
藤井千萬堂敬白

◉婦人良藥
子宮病血の道
月やく不順、產前、產後の諸症にて種々の藥を用ひ、其効なく御困りの人は中將湯を試みよ



◉如何なる難病も二三週間に全治す
◉尚は詳しくは大廣告の節御注意を乞ふ

定價 一日分拾錢 四日分卅五錢 一週間分六拾錢 二週間分壹圓拾錢 三週間分壹圓六拾錢

本店 東京日本橋區通四町目(振替一六〇番)
支店 大阪大寶寺町堺筋南入(振替三六三番)

本店 東京 津村順天堂 支店

業務擴張廣告

測量の部
一土木、鑛山、測量、製圖設計
其他工業に關する技術
京城本町一丁目八十六番戶
灘波工務所
電話六二四番

業務擴張移轉廣告
自今灘波工務所内に移轉し一層業務を擴張し誠實迅速を旨とし一般の業務を取扱ふ

代書の部
一民籍訴訟鑑定並に漢城府下諸登記請願等の代書

仲介の部
一債權定集金代辨
一土地家屋賣買金錢貸借
其他諸般の介仲屋
京城本町一丁目八十六番戶
居留民團役所前
岡田事務所
取次電話六二四番

養女にやりたし
生後五十日にして極めて健全　姓名在社

新學期開始

大日本國民中學會

會員募集

◉四月より第九回新學期を開始し各學期とも皆新に講義錄第一號より發行するを以て中途の入會者に比し至大の便あるは勿論此際の入會者に限りて得らるべき特典あり
◉事情の爲め中學校に入る能はざる青年にして短時間と少き學費とを以て中學全科を正則完全に獨習せんとするの士は迅速申込まるべし斯の如き入會の最好機は再び來らず

◉會長、正三位尾崎行雄◉講師、博士學士諸大家◉講義、言文一致の假名付にて獨習用に最も適す◉組織、全然文部省中學校令に據りて正則完全なり◉質問自由に出來る◉會費、最も低廉◉特待生優待生貸費生の特典あり◉本會講義錄の優秀拔群なるは既に天下の公評なり

東京駿河臺　電話本局三千四番　規則見本つき　無代進呈　申込次第

疊製造業

△開業御披露▼
京城南大門通二丁目
御手洗幸助

△迅速確實價格低廉▼



歐米最新流行靴各種取揃有之候間熟業ニ精巧ナル職工ヲシテ御注文ニ可應御報次第一代價表御呈送也

京城明治町三丁目
北村商店

開店廣告

三巴酒造吟釀
◯銘酒旦の出　◯高麗花
三巴醤油味噌製造場特製
◯白味噌　◯赤味噌　◯三巴印醤油
◯磨擦精白米
右品質精撰之上特別廉價ヲ以テ販賣仕候間多少ニ不拘御用命被仰付度願上候

女中いらす德用すり味噌製造元

京城本町壹丁目角　電話七五三番
三巴酒店

業務擴張

清酒醤油
洋酒類種々
瓶詰類種々
諸國名產鑵詰類種々
野菜果實其他
食料品一切

京城本町六丁目郵便局前
根來商店
●二階貸間あり御望方は御來談あれ

從來龍山川端町ニ於テ開業中ノ所今般患者諸氏ノ便利ヲ計リ旭橋通旅館長崎屋跡ニ移轉シ院務擴張汎ク一般患者ノ診察ニ應ス

診察時間　午前宅診　午後往診
入院隨時

龍山旭橋通り長崎屋旅館跡
久木田醫院

三田商業界改題

實業之世界

五月一日發行　第壹號　一冊十錢　郵稅共二十二錢　二冊二十錢

◉余は死ぬ時如何に財產を處分せんとするか……(森村市左衛門)
◉老人訓　斯くの如き先輩は宜しく社會より葬らざる可らず……痛快　野依秀一
▲銀行會社の查役無用論主張
▲大奇傑大奇物前川氏の逸話
▲改題の辭と吾徒の主張
▲吾徒の見たる實業家十傑
▲東洋製革會社事業と人物
▲世界の新智識(一讀萬金)
◉百年の計畫は事業經營の大禁物……十數頁大編　鈴木恒三郎
◉後藤新平の好む青年……後藤新平
▲實業家五十傑似顏募集懸賞大附錄
◉米國に使用人の斯して敏速に活動す……新歸朝者　山本氏
◉脫稅せる實業家　其一　三井の益田孝氏三万圓脫稅云々
▲我國商業道德改善策……鎌田氏
▲三井安田兩銀行營業振を評す
▲對外商用文の秘訣……池藤生
▲地方青年の上京を戒む
▲對清商業不振の大原因
▲親不孝論……全國奇聞
◉余の實驗せる活動青年立身策　和田豐治
◉福澤先生と吾輩の處世主義　大隈伯

東京芝三田四國町二の三號　發賣元　共同社　振替貯金三四三三番　全國各書店

●日本一の實業雜誌●

取次販賣御申込に應じて其他の化粧品一切販賣仕候

韓國一手發賣元
京城本町一丁目郵便局前(電話四百十番)
アイエス商會

製造本舖
東京日本橋區小舟町
喜多商店

登錄商標



定價　金十五錢　金十二錢

海陸運送業
生石灰販賣
龍山元町壹丁目
今福組

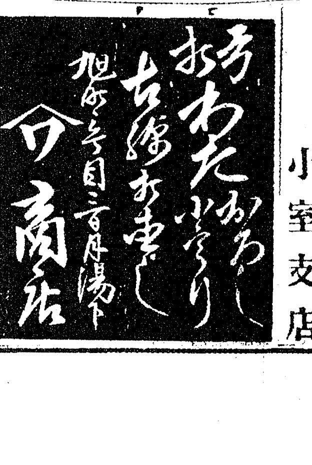
統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
本店　京城曙町　電話(七三番)
營業同本町三丁目(電話四〇番)
伊藤組



會席御料理
仕出し
京城本町八丁目
富士見樓

御旅館
京城壽町二丁目
花屋
(電話九一五番)

高等下宿
花屋支店
富士屋
(電話九一五番)



廣告
瓦
橘定製造瓦販賣
並に御好に應し賣渡し可申候
京城旭町二丁目
橘辰三郎
京城本町四丁目
小室支店